



# 手術前の“からだ”と“こころ”の準備について

手術室 看護主任

手術看護認定看護師 児玉美樹

「手術室の看護師って何をするひとなの？」・・・手術室に入ることのない患者さんにとって、私たち手術室看護師はあまり馴染みのない職業かもしれません。私たち手術室看護師は、手術を受ける患者さんが無事に手術を終えるように医師たちと協力して患者さんのお世話をしています。また、手術の前日には術前訪問といって、患者さんのところに伺い、安全に手術を受けるための身体の状態を確認したり、心配なことはないか、手術に対して希望はないかなどのお話を聞かせてもらい、患者さんができるだけ安心できるように努めています。

最近では入院期間がどんどん短くなっているので、手術の前日に入院することも少なくありません。そのため、手術前のからだの準備は入院前から始めることが大切になってきます。例えば、歯科を受診し虫歯や歯周病の治療を受けること、タバコを吸っているかたはできるだけ本数を減らすようにすることは手術後の感染症予防につながります。また、床ずれで知られる褥瘡などの皮膚トラブルを防ぐためには入院前からの保湿と栄養管理が大切になります。女性では、マニキュアやジェルネイルなどは身体からの情報を機械で測ることの妨げになるので、あらかじめ除去する必要があります。

誰にでも手術は“一大事”な出来事です。「手術が必要です」と言われた患者さんや家族は、まず、ショックを受け、様々なことに対して不安に感じることでしょう。治療のこと、生活のこと、仕事のこと、悩んだり、困ったりすることも出てくるかもしれません。私たち手術室看護師は患者さんができるだけ手術を受けることを「頑張ろう」と前向きにとらえ、“からだ”と“こころ”の準備が良い状態で手術に臨めるようサポートしたいと思っています。手術に関して、お聞きになりたいこと、困ったことがあればいつでもご相談ください。

